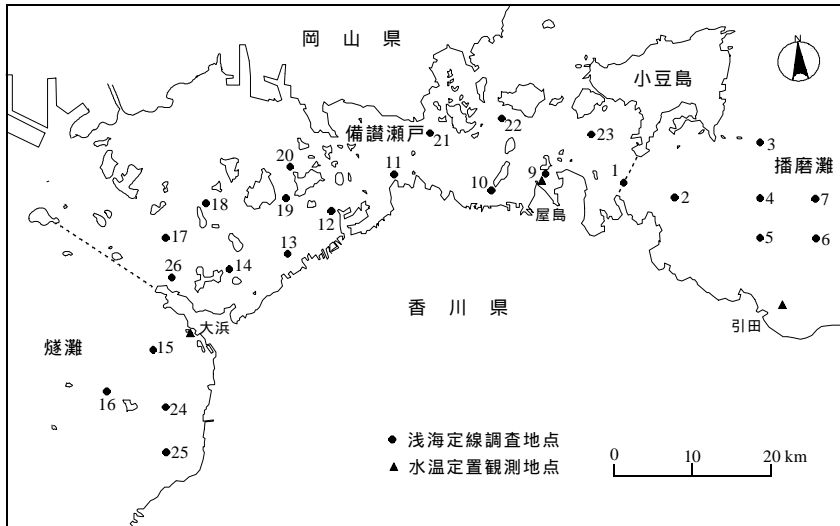


香川県漁海況速報 平成17年 2月 (H16-11号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成17年2月8日(播磨灘)、4日(備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「著しく低めからかなり低め」、透明度は「かなり低めから平年並み」、溶存酸素は「やや低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	9.7	9.9	10.2	31.0	31.2	31.4	6.4	6.41	6.21
	平年値	9.2	9.2	9.3	32.7	32.6	32.7	9.2	6.44	6.38
	平年偏差	0.5	0.7	1.0	-1.7	-1.4	-1.3	-2.8	-0.03	-0.17
	状況	平年並み	やや高め	やや高め	著しく低め	著しく低め	著しく低め	かなり低め	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	9.6	9.6	9.7	31.7	31.7	31.7	6.2	6.25	6.22
	平年値	9.1	9.1	9.3	32.8	32.8	33.0	6.1	6.36	6.36
	平年偏差	0.5	0.6	0.4	-1.1	-1.1	-1.2	0.1	-0.11	-0.14
	状況	やや高め	やや高め	平年並み	かなり低め	かなり低め	著しく低め	平年並み	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	10.4	10.4	10.5	32.1	32.1	32.1	7.2	6.08	6.03
	平年値	9.8	9.9	9.8	32.9	33.0	33.0	7.5	6.63	6.52
	平年偏差	0.6	0.5	0.8	-0.9	-0.9	-0.9	-0.3	-0.55	-0.49
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	かなり低め	かなり低め	かなり低め	平年並み	やや低め	やや低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

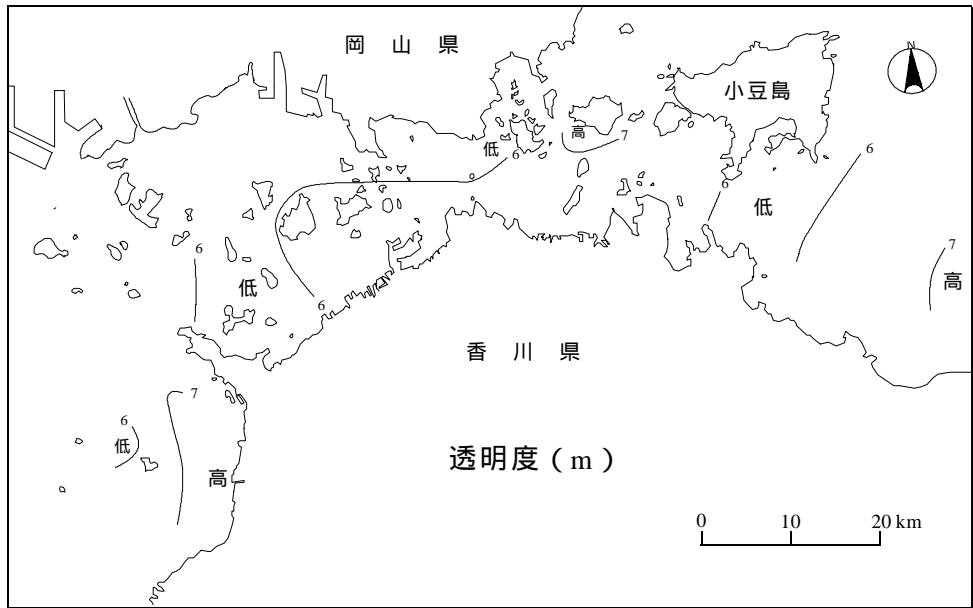
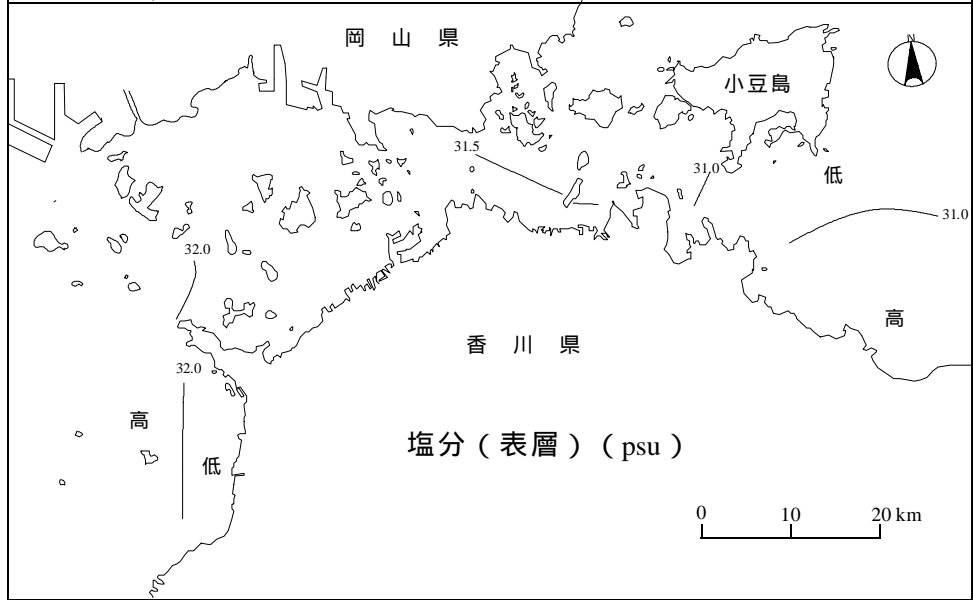
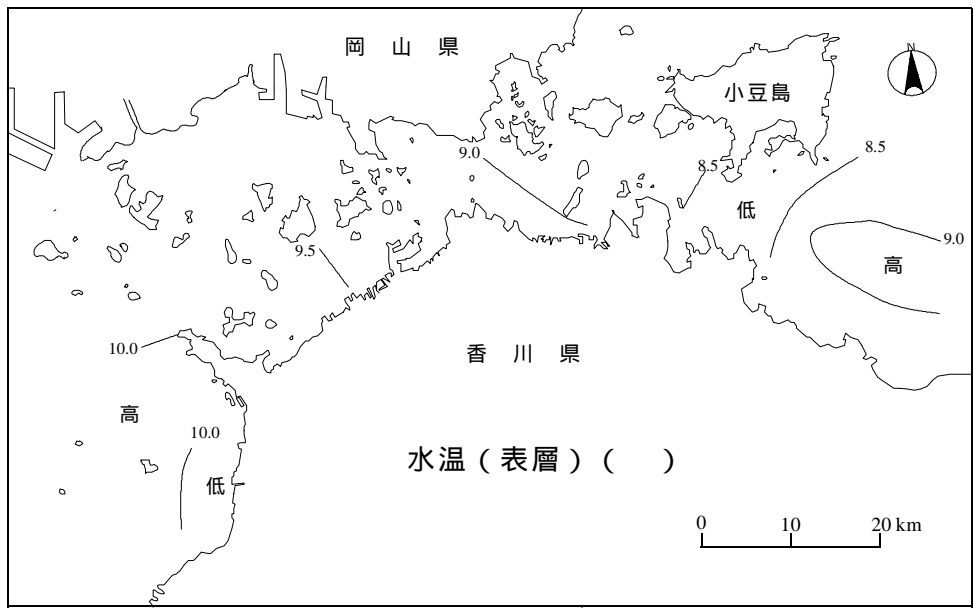
平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成13(2001)年度

透明度：昭和58(1983)～平成13(2001)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	(: 標準偏差)
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差	



2) 定量観測(水温)

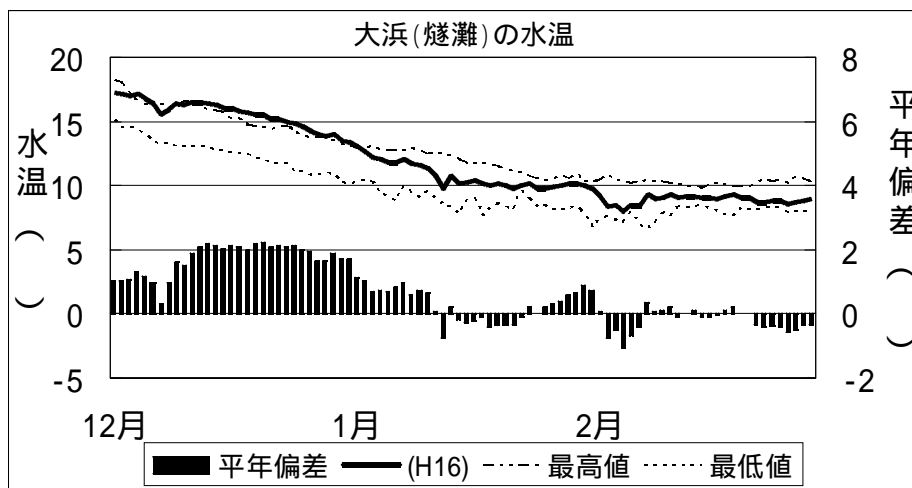
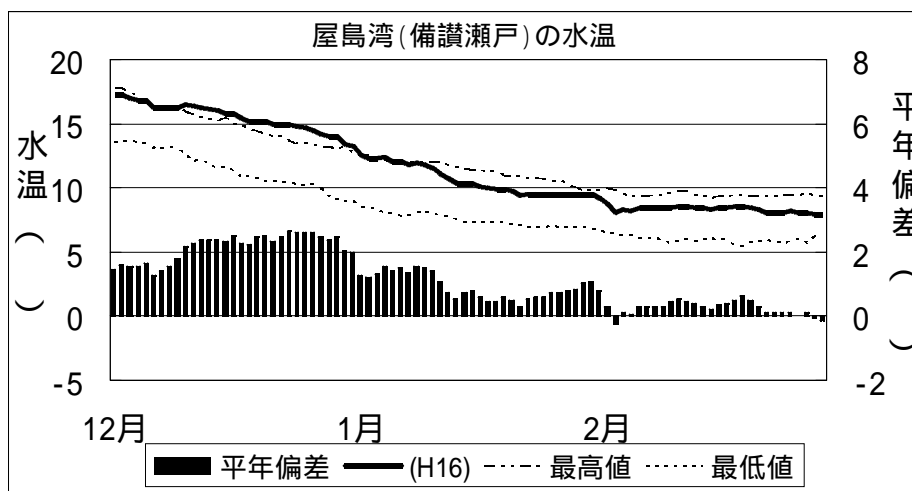
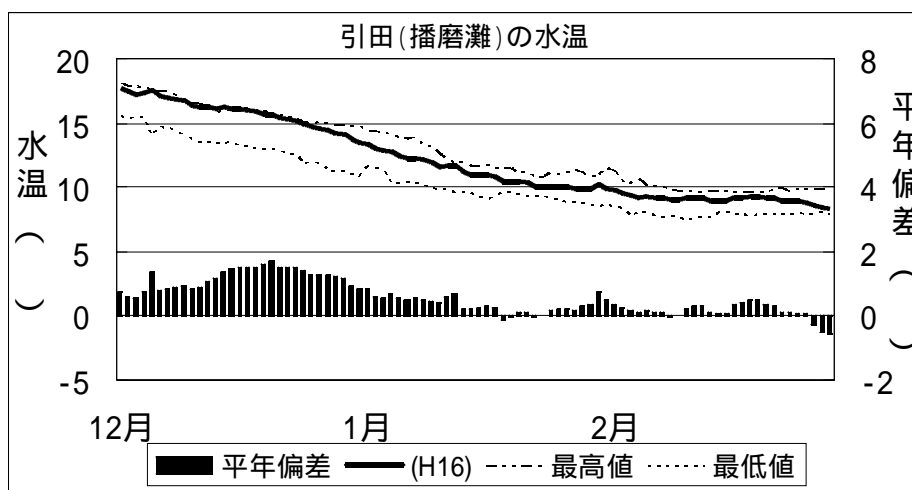
播磨灘(引田): 平年偏差は1月に入り小さくなり2月中旬まで平年値前後から0.5前後で推移した。2月下旬から平年値を下回り推移している。

備讃瀬戸(屋島): 平年偏差は1月に入り小さくなり1月は1前後推移し、2月に入り更に小さくなり平年値前後で推移している。

燧灘(大浜): 平年偏差は1月に入り小さくなり1 前後で推移し、中旬に更に小さくなり平年値前後を推移し、下旬2月上旬に大きく変動した後、中旬は平年値を小さく前後し、下旬は平年値を下回って推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成14(2002)年

屋島: 昭和50(1975)~平成14(2002)年



3) 赤潮

播磨灘：発生なし。
備讃瀬戸：発生なし。
燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成17年2月8日（播磨灘） 4日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.80
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.30
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.15

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	-	0.0%
備讃瀬戸平均	-	-	-	0.0%
燧灘平均	-	-	-	0.0%
総平均	-	-	-	0.0%

- : 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成15（2003）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成15（2003）年度

各調査点でカタクチイワシ卵の出現量はなかった。

2. 漁況

1月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網は主にウシノシタ類、アカガイ、シャコが漁獲されているが、全般的に低調である。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、イイダコが漁獲されているが、ウシノシタ類は例年より少ない。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業の漁獲量はむき身で100～140kg/日・隻と前年並みで、サイズは中型～大型貝が多いが、価格が安い。 高松沖のイカナゴ込網は、前年より4日遅い1月22日からフルセの操業が開始されたが、1月の漁獲量は7トンで前年の20%と低調であった。
燧 灘	底びき網では主にウシノシタ類、マコガレイ、ネズッポ類、フグ類が漁獲されている。